

参考資料 1

学年別指導時間割合系統表（案）

	集中指導教室		在籍普通教室			
学年	日	教科指導	在籍学級における指導		実技教科	総時間数
中 3	1	3 h	1 7 h		7 h	28 h
中 2	2 h	4 h	1 5 h		7 h	28 h
中 1	3 h	4 h	1 4 h		7 h	28 h
小 6	4 h	4 h	1 3 h		7 h	28 h
小 5	4 h	4 h	1 3 h		7 h	28 h
小 4	6 h	4 h	1 2 h		6 h	28 h
小 3	6 h	4 h	1 0 h		6 h	26 h
小 2	8 h	3 h	7 h		6 h	24 h
小 1	8 h	3 h	6 h		6 h	23 h
指導内容	バイリンガルによる日本語指導		バイリンガルによる教科指導	在籍学級における指導	実技教科	

（解説）

日本語指導は初級（小 1 ・小 2 ）、中級（小 3 ・小 4 ）、上級（小 5 ・小 6 ）、特級（中学）に大別し指導する。日本語が話せない外国人児童生徒に対しては、バイリンガルによる指導、特に日本語指導を中心に行う。中級、すなわち小学校中学年を目安に日本語における「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」の 4 技能獲得を中心に指導する。

その後は日本人児童生徒が在籍学級で学習している国語の学習へと移行していく。つまり、そこでは難解な語彙、複雑な文章の読解といった面での指導、支援を中心に行っていく。最終的には在籍学級での国語の授業についていける、日本語による高度な読み書き能力の習得までを目指して指導する。日本語指導とともにバイリンガルによる教科指導も並行して行う。

上記の集中指導教室における時間数は週合計 4 6 時間となり、一人のバイリンガル教員ではまかないきれない為、特配教員と日本語指導助手の協力を得て指導にあたる。